

【対策のポイント】

地域対応力の強化

出没に対し、地域において適切に対応できる体制を目指す

適正な管理の推進

科学的知見のもと適正な保護管理を目指す

情報発信・普及啓発の強化

ヒグマや防除など正しい知識を普及し被害軽減を目指す

【主な取組】

地域対応力の強化

- 行政職員の担い手育成、関係機関連携強化する**研修の充実**
⇒ 市町村・警察・振興局職員を対象、市街地出没を想定した机上訓練等を実施
- 振興局ごとに市街地出没を想定した**地域版実施計画の策定**
⇒ 市町村・警察・振興局の役割や情報共有体制を共有するなど連携体制を強化。14振興局毎に策定。
- 解決困難等事案に対するヒグマ**専門人材の派遣**
⇒ 14の個人・法人のヒグマの専門家と11の個人・法人のドローンの専門家を「ヒグマ専門人材バンク」に登録。
- ICTを活用した**出没重点監視エリア把握手法等の検討検証**
⇒ GIS情報を用いて出没経路を予測し、効果的な監視、防除方法の検証を実施。

適正な管理の推進

- < 政策検討 >
- 個体数調整のあり方（頭数管理）などの検討**に着手
- < 生息調査関係 >
- 広域痕跡調査やヘアトラップ調査等の**生息密度調査**（継続）
- AIによる**個体識別手法の検討検証**
⇒ ヘアトラップに代わる生息密度推定手法の構築により、効率的な調査を目指す。
- < その他 >
- 人里出没抑制等のための**春期管理捕獲の推進**（技術者育成含む）
⇒ 人里周辺の**低密度化及び捕獲圧**をかけ人里出没を抑制**並びに**人材育成を図る
R5実施期間：R5.2.9～5.20
R6実施期間：R6.2.1～5.31

情報発信 普及啓発 の強化

- パネル展、シンポジウム開催
- ヒグマ**注意報・警報**の発出
⇒ 人身事故の発生、人里への頻繁な出没時に発出し注意を促す
- SNS**を活用した**情報発信**
⇒ X（旧Twitter）やYahoo!防災で目撃情報を発信